

「クリスチャンの生き方」

1. はじめに

- ・クリスチャンの最上位の価値とは
 - ・政治はこの世にとって最上位の価値であるが、クリスチャンにとってさらに政治の上に位置する価値は「神の国」でありイエス・キリストである。「私たちの国籍は天にあります。」ピリピ3：20
 - 1. あなたがたは、だれにでも義務を果たしなさい。7節
 - 2. だれに対しても何の借りもあってはいけません。ただし、互いに愛し合うことについては別です。8節
 - 3. 今がどのような時か。11節

2. 本文

- ・パウロはIIコリント5：16で「私たちは今後、人間的な標準で人を知らうとはしません。」御霊の標準で知ると言っています。ローマ11章までは、人の罪、神の義、イエスによって神の勝利、イスラエル問題（イスラエルの救い）という聖書の教理を扱った。その根底は「愛」であった。教理的なものから実践的なことに移るのが12章であり、13章からは実践的な教えです。

1～7節

- ・あなたがたはだれにでも義務を果たしなさい。7節
 - ・ローマ政府に従い、貢を納めなさい。ローマ政府の役人に税を納めなさい。
 - ・上に立つ権威は神によって建てられたもの。原則、一般論として語る。従って義務を果たしなさい。
 - ・「人に従うより、神に従うべきです。」使徒5：29

8～10節

- ・だれに対しても、何の借りもあってはいけません。ただし、互いに愛し合うことについては別です。8節
 - ・社会的な負債と愛の負債とは
 - ・「互いに愛し合うことについては別です。」返済しきれないから。仮に返済が終わったということになれば、愛は無くなったということになります。
 - ・対等の関係、同じ立場の関係（あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ）
 - ・9節の十戒は対人関係の戒め、無数にある対人関係の戒めは「あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ。」に要約される。
 - ・対等の関係、同じ立場
 - ・Aさん、Bさんの関係を考えると、自分自身のように愛するには対等の関係、同じ立場が必要になる。

11～14節 今がどのような時か 11節

- ・聖書解釈をするとき3つの重要なことがあると一般的に教えられている。①信仰②神学③今の時代に対する歴史観。
- ・主イエス・キリストを着なさい。

3. おわりに

- ・ローマ人への手紙に限らず新約聖書、旧約聖書全体は「神の愛」を語っている。別の視点から見れば、人の「救い」の歴史であり、その完成です。根底は「愛」である。